



— 主な内容 —

- 9月1日は防災の日……………1
  - 山武郡市民体育大会結果……………2
  - 秋の全国交通安全運動……………3
  - 早めに下水道施設に接続を……………4
  - まちの出来事……………8
- ※ 罫 = 問合せ先 罫 = 申込み先

●発行/大網白里町 ●編集/秘書広報課 ●毎月1日発行 〒299-3292 千葉県山武郡大網白里町大網115番地2 総合案内電話 ☎0475(70)0300(総務課)

## 家の安全点検

屋根  
ずれ・はがれはないか

外壁  
壁に亀裂はないか

バルコニー  
物干し竿など飛散の危険はないか

雨どい  
土砂などが詰まってないか

ブロック塀  
破損などで強度が弱くなっていないか

# 日ごろからの 備えを万全に

## 9月1日は防災の日



あなたの防災対策は  
大丈夫？

災害はいつ起こるか分かりません。突如襲われたとき、災害から自分の身を守るために日ごろから備えましょう。

**▼わが家の防災対策**

不安定な家具、また危険なものがないか、家の内外の点検をしましょう。

▼家の安全点検

多くの人の大切な命と貴重な財産を奪った平成7年1月の阪神・淡路大震災。家具類の転倒や落下物による負傷者が多数発生した平成15年9月の十勝沖地震。

このような災害に突如襲われたとき、一人ひとりが適切な行動がとれるでしょうか。私たちは、災害から身を守るため、日ごろから備えるとともに慌てず落ち着いて行動するなどの身を守る心得を、常に持ちましょう。

**▼家族の防災会議を開こう**

家族の役割分担を確認しましょう。また、非常時の連絡方法、避難場所や道順の確認を行いましょう。

**▼いざというときのための備え**

家庭では、いざというときに備え、非常持出品を用意しておきましょう。中身は一人で持ち出せる最低限のもの。必要な物をまとめて、目のつきやすい所に置いておきましょう。

**▼非常持出品**

家具や大型電気製品を固定し、家具の上に物を置かない

- ・寝る部屋は安全なスペースを確保する
- ・火気器具は日ごろから点検する

**▼非常備蓄品**

災害復旧までの生活を支える食料や飲料水を、3日分は用意しましょう。

**▼非常食(米など)、飲料水**

(目安は1人1日3リットル)

簡易ガスコンロ、固形燃料、割りばし、コップなど

**▼非常食(米など)、飲料水**

戸別受信機は、災害時等に町からの行政・災害情報を聞くことができます。持ち運びができますので、非常持出品として、忘れずにしましょう。

まだ戸別受信機をお持ちでない方は、町で個別受信機の貸与を行っています。

▼申込方法▶▶印鑑を持参の上、総務課窓口で手続き

▼引き渡し時期▶▶申込みから約1カ月

▼負担金▶▶引き渡し時に1万円

**▼非常食(米など)、飲料水**

戸別受信機は、災害時等に町からの行政・災害情報を聞くことができます。持ち運びができますので、非常持出品として、忘れずにしましょう。

まだ戸別受信機をお持ちでない方は、町で個別受信機の貸与を行っています。

▼申込方法▶▶印鑑を持参の上、総務課窓口で手続き

▼引き渡し時期▶▶申込みから約1カ月

▼負担金▶▶引き渡し時に1万円

**▼非常備蓄品**

災害復旧までの生活を支える食料や飲料水を、3日分は用意しましょう。

**▼非常食(米など)、飲料水**

(目安は1人1日3リットル)

簡易ガスコンロ、固形燃料、割りばし、コップなど

**▼非常食(米など)、飲料水**

戸別受信機は、災害時等に町からの行政・災害情報を聞くことができます。持ち運びができますので、非常持出品として、忘れずにしましょう。

まだ戸別受信機をお持ちでない方は、町で個別受信機の貸与を行っています。

▼申込方法▶▶印鑑を持参の上、総務課窓口で手続き

▼引き渡し時期▶▶申込みから約1カ月

▼負担金▶▶引き渡し時に1万円

**▼非常持出品**

家具や大型電気製品を固定し、家具の上に物を置かない

- ・寝る部屋は安全なスペースを確保する
- ・火気器具は日ごろから点検する

**▼非常備蓄品**

災害復旧までの生活を支える食料や飲料水を、3日分は用意しましょう。

**▼非常食(米など)、飲料水**

(目安は1人1日3リットル)

簡易ガスコンロ、固形燃料、割りばし、コップなど

**▼非常食(米など)、飲料水**

戸別受信機は、災害時等に町からの行政・災害情報を聞くことができます。持ち運びができますので、非常持出品として、忘れずにしましょう。

まだ戸別受信機をお持ちでない方は、町で個別受信機の貸与を行っています。

▼申込方法▶▶印鑑を持参の上、総務課窓口で手続き

▼引き渡し時期▶▶申込みから約1カ月

▼負担金▶▶引き渡し時に1万円

## 消火活動はもちろん 災害時に活躍する消防団

町には、消防署とは別に非常勤の消防団があります。仕事の傍ら、火災時の消火はもちろん、台風や地震などの災害援助活動にも出動しています。

この消防団員に感謝するとともに、さまざまな災害を抑制できるよう、もう一度災害対策について確認しましょう。

### 訓練の成果を十分発揮

本町消防団が千葉県消防操法大会で第3位に

山武消防ポンプ操法大会の小型ポンプ操法の部で優勝し、山武支部代表となった第4分団第5班(細草6区、7区東・南)。7月29日、千葉県消防学校で千葉県消防操法大会が行われ、県内の支部を代表する12隊で競い合う小型ポンプ操法の部に出場しました。

大会当日の最高気温は32.4度。そんな蒸し暑く厳しい状況の中でも、日ごろからの操法訓練の成果を発揮し、見事、栄誉ある優良賞(第3位)に輝きました。また、浅岡勉さん(3番員)が個人賞を受賞しました。

◎第4分団第5班  
指揮者=野口裕之  
1番員=田中宏和  
2番員=飯倉利昌  
3番員=浅岡 勉  
補助員=佐久間克彦

## 「十枝雄三翁と両総用水」

古来、九十九里平野は温暖な気象条件に恵まれながらも水源に乏しく、日照りが続くとなちまち干ばつとなり、長雨が続きと耕地は冠水し、自然災害の連続でした。

昭和8、9、15年は、まれにみる大干ばつで、植え付け不能のひび割れ田が広がり、農村の飢饉は深刻で、農家に食べる米もなく、種籾すらないありさまで、農民は日当50銭の干害救済事業で糊口をしのいだと言われます。

昭和8年、旧福岡村(東金市、大網白里町に分村)村長に就任した十枝雄三翁は、干ばつの中、水源を求めて真亀川、南白亀川の改修、小中池の築造等に東奔西走します。

十枝雄三日記の昭和15年7月29日には「山武郡干害町村長協議会を招集し、利根川引水に一致、猛進する事に決す」とあり、ここに郡の干害恒久対策を決しています。

この年、県議会議員に就任した十枝翁は、利根川沿岸の湛水防除対策に奔走する佐原の坂本齊一県議等と図り、香取の排水と九十九里平野の用水対策を一本化し、昭和16年香取・匝瑳・山武・長生4部51力町村を結集した両総用水

町文化協会では、名誉町民第1号である十枝雄三翁(1873年〜1956年)の胸像建設を進めています。

この十枝翁の生い立ちや活躍について、シリーズとして紹介していきます。

改良事業期成同盟を結成。会長として、国・県に向け粘り強い要請活動を展開したので。その結果、戦時下の昭和17年、国会は両総用水排水事業を承認し、18年農地開発営団が発足、佐原から工事は着工します。

昭和20年1月、期成同盟は両総普通水利組合連合会に発展、十枝翁は管理者に就任しました。

工事は戦後の混乱の中で、資金・資材の欠乏、工事の中断等、幾多の障害を乗り越え、昭和22年には農林省直轄事業となり、昭和40年9月、22年間におよぶ大事業は見事に完成したのです。

九十九里平野は今、長年の干害、水害を克服し、土地改良、耕地整理が進み、乾田化により機械化・省力化はもとより、二毛作が可能となり、豊かな穀倉地帯に生まれ変わりました。

また、十枝翁等が心魂傾けて取り組んだ両総用水は、臨海工業地帯の発展と共に、工業用水、生活用水に供用され、今では房総半島を縦断し、千葉県発展の原動力となっています。

提供 町文化協会/鈴木 ☎(77)2682